国境をこえて響く 少女たちの歌声

リトアニアのドヴァリョーナス音楽学校女子合唱団「ヴィヴァ・ヴォーチェ」が来町し、コンサートを開催しました。およそ500人が来場し、その美しい歌声にうっとりと聴き入りました。

なりやまない拍手に、2度もアンコールに応えてくれたみなさん。終演後、彼女たちの目からは涙があふれて止まらなくなっていました。涙の訳を聞いてみると、「ジャパンツアーの最後を、杉原千畝さんの故郷で迎えられたこと、八百津のみなさんの温かさ、全てに感動しました。またここで歌いたいです」とにっこり。

指揮者のカティナス氏は、「日本とリトアニアはとても遠いけれど、魂は一緒だと感じました。ぜひ八百津のみなさんにも、リトアニアに来てほしい」と、話しました。

翌日、ヴィヴァ・ヴォーチェのみなさんは、東部中学校の子どもたちと交流コンサートを開催しました。合唱交流の後は学年ごとに交流会が行われ、日本の学校生活を体験しました。

2年生の教室では、紙コップに入れた大豆を箸を使ってリレー。器用に大豆をつまみ上げる姿に、子どもたちからは、驚きの声が上がりました。

東部中の子どもたちは、「声がとっても澄んでいて、きれいなハーモニーでした。あんな風に歌えるようになりたいな。日本の給食はとてもおいしいと言っていて、残さずに食べてくれたのも、たくさんおしゃべりできたのもうれしかったです」と笑顔をこぼしました。

祝 全国大会出場

頑張るみなさんを応援します！

全国大会に出場する町内在住の方々に教育文化スポーツ激励金交付式が行われました。

JOCジュニアオリンピックカップ 全日本卓球選手権大会(カデットの部)

佐合凛音さん(八百津中)

○佐合凛音さんは金子町長より激励を受け「良い成績が残せるように精一杯頑張ってきます」と力強い表情で意気込みを語りました。

【結果】カデットシングルスの部3位、ダブルスの部2位を獲得。全国大会へと駒を進めました。

ご寄附をいただきました

町内出身の佐藤金五さんより、1億円のご寄附をいただきました。

八百津町の子どもたちのために、就学支援金として、大切に活用させていただきます。

ありがとうございました。

「こんにちは」赤ちゃん

田辺 葉大(ようた)ちゃん
10月25日生まれ
保護者　田辺雅人・真穂(旭)
「元気いっぱいすくすく育ってね☆」
お父さん・お母さんより

伊佐治 拓歩(たくほ)ちゃん
11月5日生まれ
保護者　伊佐治高宏・巳佳(下田)
「お兄ちゃんたちと仲良く元気に大きくなってね！」
お父さん・お母さんより

編集後記

この秋は、リトアニアやイスラエルなど、海外からのお客さまを取材する機会を多くいただきました。

言葉の高い壁にぶつかりましたが、みなさん簡単な言葉でゆっくりとお話してくださったおかげで、何とか記事にすることができました。

英会話を身に付けて、自分の言葉で会話できるようになりたいと思いますが、いつになることやら…。

ちなみに私は八百津町民歴8年。八百津弁はすっかり体に染みこんでいます。

総務課　広報行政係
船戸

「この面は販売店が記入してください」
住所　八百津町
店名
代表者名
下記の方へ販売し補助金交付の委任を受けました。
購入者
販売(委任)年月日
購入額
数
品名
補助金